

PIC - Port 04-01使用説明書 (Quick Start)

1. 電源線の接続

電源 (6V以上) の正負極を確認し、パワー入力端子 aもしくはパワー入力端子 bに接続します。

2. コネクタの接続

- (1) 信号入出力及び制御用ポートコネクタJP1 a, JP6 b, JP7 cは必要に応じて接続します。
サンプルプログラムを使う時に、RCサーボをJP6のRB0-3に接続できます。(下図参照)

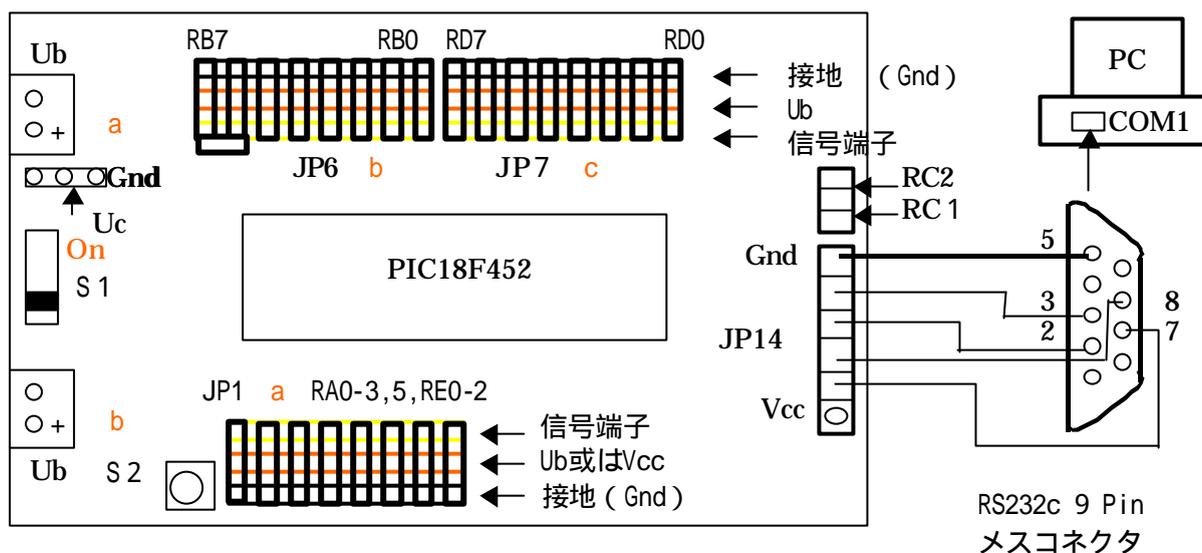


図3-4 信号入出力コネクタ結線図

- (2) RS232シリアル通信コネクタ

オプションのシリアル通信ケーブルを使って、RS232c9PinメスコネクタをPCのシリアルポートCOM1に接続し、5Pin端子をPIC-Port 04-01ボードのJP14 に接続します。

3. スイッチオン

- (1) 制御ボード用電源スイッチS1オンにすると、PIC-Port 04-01ボードを出荷時サンプルプログラムが起動します。PC側コントロールソフトを弊社サイトにダウンロードしてください。
- (2) ブート用スイッチS2を押しながら、電源スイッチS1をオフからオンにします。黄色LED (RC1) が点灯、ブートモードに入り、PCシリアル通信でユーザープログラムを書き込めます。弊社サイトでダウンロードした弊社のPCフラッシュソフト PIC-Port Flasher Ver0.9を使えます。Exeファイルを任意フォルダに展開して使うこととなります。Icon  をクリックし、ソフト画面が出ます。フラッシュ (Flash) ボタン一つでユーザープログラムをPICチップに書き込めます。書き込み完了後、電源スイッチS1を再度オフからオンにしてください。

4. 本ボードの詳細はユーザーマニュアル (<http://www.ministudio.co.jp/>) を参照してください。

ご注意： (1)電源の正負極を絶対にショートしないでください。
(2)用途によってジャンパーの設定が変わりますので注意してください。
(3)ブートスイッチを押す時にリセットや電源スイッチを再入りなどでプログラムが実行できず、ブートモードに入ります。
(4)パワー入力電圧低すぎますと、ボードの動作は安定しない場合があります。